

## 福井大学学術交流協定校への派遣留学(交換留学)月例報告書 (10月分)

留学先大学: Chulalongkorn University

氏名: 井口 健

こんにちは、タイで食中毒になって人生観変わった井口です。本当は食中毒体験記について永遠と書きたいところですが、よく考えたら食中毒になったのは11月の初めのことだったので来月の報告書に持ち越したいと思います。(執筆日: 11月10日) 10月も光の速度で過ぎ「こんなんでええんか...」という気持ちは日に日に募りますが、楽しかったこともたくさんあったので徒然と書いていきます。

### <マレーシア旅行>

10月12日~14日の二泊三日でマレーシアのクアラルンプールに行き、GCS 東南アジア会を開いてきました。参加者は、タイ3人組とマレーシアの安江、ベトナムの遠藤でした。第一印象としてはクアラルンプールはバンコクよりも洗練された街だなということです。バンコクもかなり都会ではありますが、歩道のタイルがグラグラしていたり、よくわからないところから水が滴り落ちてきたり、ゴミ袋が道に捨ててあったりします。その点クアラルンプールはどこを見ても「きれい!」で、且つデカイモールをボンボン建てて繋げただけのバンコクの中心地であるサイアムとは違い、景観も整っていました。タイ人の友達にその話をしたら「more organized だったでしょ」と言われ、その言葉が一番まとを得た表現だと感じます。さらにバトゥ洞窟に行った時は自然物にも驚かされました。「この洞窟が形成されるまでの何万年に比べたら人間が生きる時間なんてほんの一瞬なんだなあ、ましてや留学期間の10ヶ月なんて米粒程度にも満たない時間だなあ」としみじみしました。そう考えると自分の日々悩んでいることもちっぽけなことだと思えるので、今度から悩みや辛いことに直面してもバトゥ洞窟のことを思い出して頑張りたいです。また、個人的 Best Moment はマレーシア関係ありませんが、1日目の夜に色々な国に留学している GCS の学生にみんなでビデオ通話をしてそれぞれの留学生活について語り



あったことです。特にリトアニアの佐藤くんには一対一で話して色々とお励ましてもらいました。(ありがとう) 東南アジア組各位も色々とお抱えながら奮闘しているそうなので自分も頑張らないとなと思えるたくさんの刺激があった旅行となりました。



#### <BALAC short trip>

今月は BALAC の Short Trip でアユタヤ遺跡にも行きました。同じ週の週末にもインターラクティブイベントのチームでアユタヤに行く予定だったので、申し込むか悩んでいましたが、友達が「一緒に行こうよ！ぜったい楽しいじゃん！」と激推しするので一緒に申し込みました。しかし彼は当日寝坊して、ソロ参戦になったので彼のことはしばらく許しません。それでも他の交換留学生と仲を深められ、Interact の友達との授業のミーティングが入り結局行けなかったので一人でも参加しておいて良かったです。



#### <地獄のビザ更新>

最後に留学のお役立ち情報とまではいきませんが、タイのビザ更新の体験レポートを書いておこうと思います。日本で取得した Education Visa は 3 ヶ月で切れるので、10月の下旬にタイのイミグレーションオフィスに更新に行きました。1日で200人以上の人が更新に来るので半日は潰れるのは普通で、早い番号の整理券をゲットするために友達と夜中の3時半に寮から Grab でイミグレに向かって並び始めました。6時にイミグレが開き、さらに中のオフィスの前で並びます。そして7時にオフィスに入るための整理券が配られます。(受付の整理券ではない) そこから一度解散になり、再び8時に集合して、事前にもらった整理券の順番でオフィスの中に入ります。そこで再び目的別(ビザ更新やリエントリーパーミットなど)に整理券を受け取り、これがようやく受付の整理券になります。結局3時半から並び整理番号は9番でした。それでも自分の番まで1時間くらいはかかり終わったのは9時半ごろでした。そこから寮に戻り、一睡もしていなかったので午後の3時半まで爆睡していました。一つ注意としては BALAC の人だけ書類の記載が3ヶ月になっていたことで、再び1月に更新に行かなくてはなりません。他の学部の人には来年の5月まで更新できていたので、次は書類申請の時にしっかりオフィスに伝えようと思います。